



2020年12月25日

各位

会社名 株式会社ピースリー
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 藤吉 英彦
 (コード番号: 6696 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 CFO 青柳 貴士
 (TEL. 03-3239-2020)

通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年3月13日に公表いたしました2021年1月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。また、2021年1月期第4四半期連結会計期間において、特別損失を計上することといたしますので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2021年1月期の通期連結業績予想値の修正 (2020年2月1日～2021年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年3月13日発表)	百万円 1,545	百万円 81	百万円 81	百万円 68	円 銭 19.77
今回修正予想 (B)	549	△327	△324	△387	△109.39
増減額 (B-A)	△996	△409	△406	△456	
増減率 (%)	△64.7	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2020年1月期)	783	△103	△102	△122	△38.65

(2) 修正の理由

① 売上高、営業利益、経常利益の修正

2021年1月期の通期連結業績予想につきまして、今期はメディア Platform&IT サービス事業の柱としてメディア Platform となり得る様々な場所に企画を提案し、今まで培ってきた世界水準の Product を提携先様とのアライアンスを強化しながら、事業展開を進めてまいりました。その第1弾として、美容サロン向けサイネージサービスの提供を開始いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、

サービス開始が遅れ、美容サロンに向けたサイネージ設置に向けた営業活動や広告獲得も前回発表予想を下回っていたことから、第2四半期以降は、積極的に新たなPlatform事業への仕込みを展開し、前回発表予想に織り込んでいなかった新規受注による補填を目指すことにより、前回発表予想に概ね沿った着地を見込んでおりました。

しかしながら、第4四半期において、メディアPlatform&ITサービス事業において、新規受注として503百万円の売上高を見込んでおりましたLEDサイネージ設置案件の受注納品が、更なる新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海外工場での製造体制の構築に想定以上に時間がかかり、来期以降にずれ込むこととなりました。また、IoTソリューション事業において、新規受注として360百万円の売上高を見込んでおりましたIoT製品が失注したことにより、売上高、営業利益及び経常利益につきまして、業績予想を修正することとなりました。

② 親会社株主に帰属する当期純利益の修正

売上高、営業利益及び経常利益の修正に加え、「2. 特別損失の計上について」に記載の減損損失を特別損失として計上することとしたことにより、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、業績予想を修正することとなりました。

2. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2021年1月期第4四半期連結会計期間において、以下の資産につきまして、減損損失として特別損失を計上することといたします。

(1) 建物等の減損処理（連結決算）

当社が横浜技術センターとして使用している物件の賃貸借契約が2021年5月で終了することに伴い、当該物件に係る建物等の資産につきまして、減損損失として12,650千円の特別損失を計上することといたします。

(2) ソフトウェア等の減損処理（連結決算）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により民泊市場及び飲食市場の低迷に伴い、当該市場向け販売用に保有していたソフトウェア等の資産につきまして、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として37,054千円の特別損失を計上することといたします。

(3) 連結子会社株式の減損処理（個別決算）

当社の完全子会社であるTRANZAS Asia Pacific Pte. Ltd.の純資産価額が投資金額を大きく下回るが見込まれるため、同社株式につきまして、減損損失として76,286千円の特別損失を計上することといたします。なお、個別決算で計上した当該特別損失は連結決算では消去されます。

3. 2022年1月期以降の業績について

2022年1月期の連結業績予想については現在集計中ですが、美容サロン向けサイネージビジネスにおいて着実に設置台数及びリーチ数も伸長しており、新たなPlatform事業展開も2022年1月期の連結業績に寄与することが見込まれます。

なお、当社の2022年1月期の連結業績予想は、2021年3月上旬に「2021年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表する予定です。

以上